

本日の検証について

2021年7月14日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 2021年度は、東京中部間連系設備の変電所増強工事、送電線増強工事の検証を、北海道本州間連系設備の変換所増強工事、送電線増強工事の検証を進める。

項目				2020年度		2021年度											
				第4四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期					
東京中部間 連系設備	新佐久間FC	電源開発NW	調達プロセス 工事費・工期	★	★												
	新富士変電所	東京電力PG	調達プロセス 工事費・工期				★	★									
	静岡変電所	中部電力PG	調達プロセス 工事費・工期				★	★									
	東清水線	東京電力PG	工事費・工期												★	★	
	佐久間東幹線他	電源開発NW	工事費・工期												★	★	
北海道本州 間連系設備	北斗変換所 今別変換所	北海道電力NW	調達プロセス 工事費・工期					★	★								
	北斗今別直流幹線	北海道電力NW	調達プロセス				★										
	今別幹線増強	東北電力NW	調達プロセス				★										

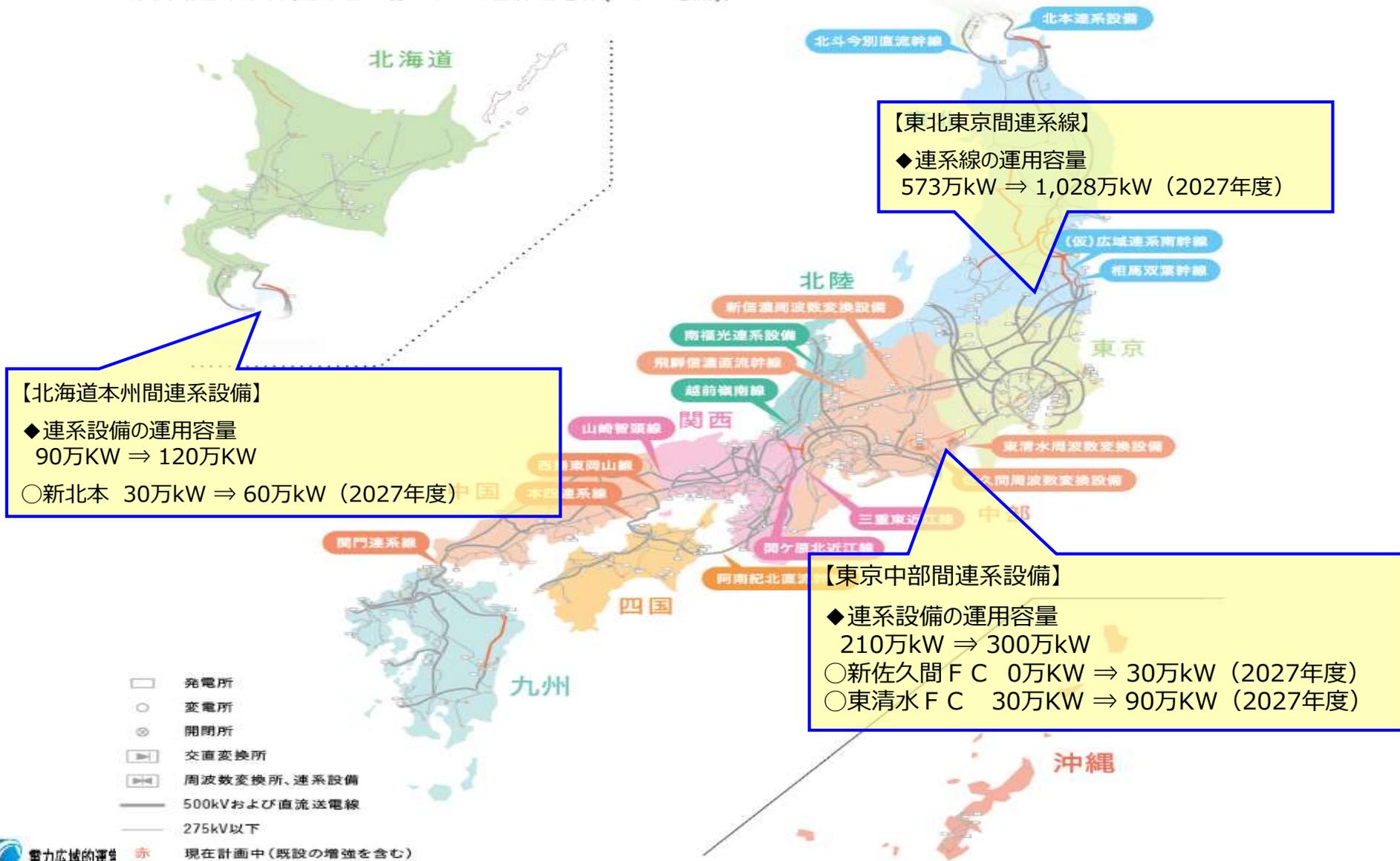
【東京中部間連系設備】

- 前回の委員会で、東京電力PGと中部電力PGのVE提案による過去のコスト削減例が示されたが、今回の工事費への両社の反映状況について確認する。
- 前回の委員会で示された、新富士変電所および静岡変電所の工事費・工期について確認を行う。

【北海道本州間連系設備】

- 前回審議した基本的な考え方にに基づき、北斗変換所および今別変換所設備の調達プロセスについて、公平な競争環境を維持しながら、コスト低減を図っていくことが可能なものとなっているか議論する。
- 各変換所増強工事の工事費・工期について確認を行う。

● 広域連系系統<連系線と各エリアの基幹送電線(上位2電圧)>



【参考】検証の基本方針

すでに広域系統整備委員会で決定され進められている広域系統整備計画を対象に、現場調査が完了し、計画の精度がさらに高まった時期において、主要機器や主要工事に対して、必要最小限のコストが反映されているか、必要な運開期が確保されているかについて検証するとともに、今後の発注行為においても競争による発注を行うことで、よりコスト低減を目指した計画になっていることを確認する。

1. 調達プロセス

- ✓ 原則として競争による発注を行う。
- ✓ コスト低減の取組も考慮された発注方式とする。

2. 工事内容（工事費）

- ✓ 工事数量に対して、実施案における工事費や過去に行った類似工事から、著しく乖離した工事費を計画しない。
- ✓ コスト低減方策を織り込む。
- ✓ 工事費増減の見通しがある場合は、その理由と対応策をコスト等検証小委員会の場で確認の上、予算額を超過するリスクがある場合は、広域系統整備委員会へ報告・審議を行う。

3. 工事内容（工期）

- ✓ 必要な運開期を確保する。
- ✓ 工程が遅延する見通しがある場合は、その理由と対応策をコスト等検証小委員会の場で確認の上、運開期が確保できないリスクがある場合は、広域系統整備委員会へ報告・審議を行う。